

地域に吹く新しい風

富士見町 地域おこし協力隊員を紹介します

◆地域おこし協力隊ってなに？

都市圏から受け入れた住民を地域おこし協力隊として委嘱し、地域ブランドや地場製品の開発・販売・PR等の地域おこしの支援や、農林水産業への従事、住民の生活支援などの「地域協力活動」を行いながら、その地域への定住・定着を図る取り組みです。

今回は、地域おこし協力隊としていろいろな想いを持って移住された皆さんを紹介します。

あらかわ てつお
荒川 鉄男 活動場所：ゆめひろば富士見

3年目に突入いたしました、『てっちゃん』こと荒川鉄男と申します。通常はゆめひろばで、いつも『赤い服』を着て作業をしながら、子どもたちと楽しく過ごしております。

ゆめひろばが、子どもからお年寄りまで、すべての町民の皆さまが安全で楽しく過ごせる憩いの場になるように、また町を活性化するような企画・運営ができるよう日々活動しております。地域おこし協力隊として活動できるのも、残り9ヶ月弱となりましたが、最後まで町民の皆さまのご意見を形にできるよう活動していきたいと考えています。ゆめひろばのことで、町のことで『赤い服のてっちゃん』に気軽に声をおかけくだされば嬉しいです。



【着任】平成30年6月
【業務】ゆめひろば富士見の
管理・運営・企画



◀ ゆめひろば
フェイスブック更新中！

ながお なおと
長尾 直門 活動場所：おたっしゃ広場

今年の8月、福岡県から移住してきました長尾です。普段はおたっしゃ広場で介護予防活動や、皆さんの活動のお手伝いをしています。

これまで介護福祉士として働く中で「介護は予防が最も大切」と感じ、認知症や介護予防のため、廃校（学校）を高齢者の活動の場として活用できないかという思いを胸に富士見町へやってきました。

大人になってから行く学校って楽しいと思いませんか？

資格や検定、卒業資格を得るために勉強したり、友達を作ってクラブ活動をしたり、思い出の母校に行くだけでも楽しいかもしれません。昔の話に花が咲きそうですね。

地域の廃校や空いている場所を活用しながら介護予防になって、地域の活性化にもつながればと考えています。

同じ思いの方がいらっしゃいましたら、ぜひご連絡ください。



【着任】令和2年8月
【業務】おたっしゃ広場での
運動教室アシスタント
や指導



もっと知ってほしい！地域おこし協力隊

◆どんな活動をしているの？

業務内容は隊員によって様々です。

地域おこし協力隊は、自治体が「〇〇の仕事に協力してほしい」と募集をかけ、応募いただいた方の中から面接等を経て選ばれます。

富士見町では福祉関係、テレワーク関係の隊員を募集することが多いですが、どんな事業でも「新しい視点」が入ることは大切だと考えています。

◆地域おこし協力隊って何人いるの？

町内では6人の地域おこし協力隊員が活動しています。(9月末日現在)

富士見町では平成27年から地域おこし協力隊の制度を利用しており、社会福祉・介護に関することや町のPR、テレワークに関する業務などで、今までに8名の方に地域おこし協力隊として活動いただきました。任期終了後も全員町内で活躍しており、中には新たに事業を始めた方もいらっしゃいます。



【着任】令和2年4月

【業務】森のオフィス運営
および森のオフィス
Livingの管理

みず かい けい こ
水飼 啓子

活動場所：森のオフィス

東京都出身で、22年間フリーランスカメラマンとして雑誌や広告の撮影に携わってきました。今年の4月から森のオフィスで働いています。

プライベートでは車に寝泊りしながらキャンプ撮影旅をすることが好きで、北海道根室まで車を運転し撮影を行うこともありました。そのような生活をする中で、ずっと考えてきた“自然豊かな場所で暮らしてみたい”という思いを叶えるために移住してきました。

違う場所で生まれ育ったからこそ、富士見町の魅力をより感じる事ができる気がしています。これからは大好きになった富士見町の魅力を、森のオフィスから発信していければと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



お が た ま や
緒方 麻弥

活動場所：森のオフィス

群馬県にある同じ“富士見町”出身の緒方です。今年の5月から森のオフィスで働いています。

山や自然が好きで、山登りも1人で登ったりしています。富士見町に来て、自然の音や景色に日々癒されております。四季が肌で感じられる場所にいることに嬉しさもあります。

今後、地域の人との繋がりを大事に、沢山の方と関わっていけたらと思っています。移住促進のオンライン・トークイベントも定期的に行い、県外の方々と繋がることで、富士見町を少しでも知ってもらいきっかけを作り、そこから足を運んでもらえるような活動を、今後さらに行なっていきたいと思っています。

これからよろしくお願いいたします。



【着任】令和2年5月

【業務】森のオフィス運営
および森のオフィス
Livingの管理

やま なか かず ゆき

山中 一之 活動場所：役場総務課 企画統計係

地域おこし協力隊として夫婦で採用していただき、大阪府から移住しました、山中一之です。

役場総務課で「ふるさと納税業務」を担当しており、町の税収アップを目標に、返礼品の発掘にも力を入れています。

返礼品は、富士見町の魅力をさらにアピールできる大切なツールです。富士見町で作られたものや体験できることなど、地場産品としてみなされるものであれば返礼品として登録できるので、オススメの返礼品をご存知の方は、企画統計係までぜひご連絡ください。よろしくお願いたします。



返礼品を紹介しています



▲Instagram



▲フェイスブック



【着任】令和2年5月
【業務】ふるさと納税関係、
移住・定住
プロモーション

やま なか

山中 さやか 活動場所：旧落合小学校



東北生まれの北海道育ち、今年の4月に万博記念公園のある大阪府吹田市（関西在住歴約16年）から、夫と、元気すぎる男児2人（4歳、2歳）の4人家族で富士見町へまいりました。

今は富士見町社会福祉協議会 地域福祉係（旧落合小学校）で、子どものことから高齢者のことまで幅広く関わらせていただいています。

子育てで世代真っただ中にいる地域のママさんたちと一緒に、属性に関わらず、大人も子どももみんなが笑顔あふれる繋がりを作っていけると考えています。これからどうぞよろしくお願いたします。



【着任】令和2年5月

【業務】地区のサロン活動など
社会福祉を目的とした
活動

ママ
ぷろじえくと。

ママの、ママによる、ママのためのプロジェクト！

お互いに応援しあい、様々の思いを共同で形にしていくプロジェクトです。

ママさんメンバー大募集中です。興味のある方はお問い合わせください！



◆皆さまのご協力をよろしくお願いたします

地域おこし協力隊としての活動期間である3年の間に、地域の皆さんとともに地域づくりに取り組み、任期終了後も町に定着し続けることが「地域おこし協力隊制度」の最も重要な部分ですが、地域の魅力を発信する隊員も、着任したばかりの時は誰もが「富士見町初心者」です。地域に溶け込んでもらうためには、隊員だけでなく、受け入れる地域側の理解も大切となります。

隊員がもたらす新しい風がさらに大きくなるよう、富士見町では隊員と一緒に考え、動きながら、地域の活性化を目指します。皆さまのご協力をお願いします。



問 総務課 企画統計係 ☎62-9332